一般社団法人

日本テレマン協会

2020 年度 活動報告書

Telemann Institute Japan

一般社団法人日本テレマン協会
２０２０年度　活動報告書

CONTENTS

4 TOPICS

7 日本テレマン協会について
7 日本テレマン協会について
7 テレマンとは
8 延原武春
9 テレマン室内オーケストラ
9 テレマン室内合唱団

10 公演記録
10 定期演奏会
13 マンスリーコンサート
15 その他の主催公演

16 依頼公演について

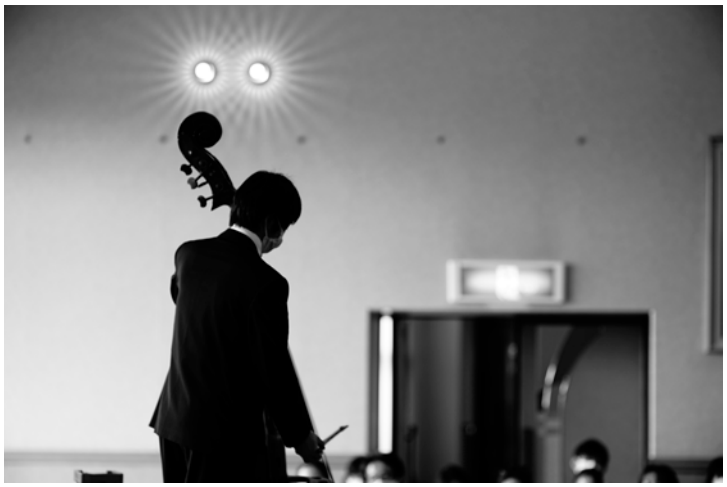
17 学校公演について

18 年表

20 日本テレマン協会後援会について
20 役員名簿
20 年表
21 法人会員
21 個人会員

22 日本テレマン協会ディスコグラフィー

１１月２６日　第２７３回定期演奏会　公演風景



２０２１年3月２０日　親子で楽しむクラシックコンサート　公演風景

9月１９日　大丸心斎橋店 1st ANNIVERSARY　公演風景

１１月２９日　第２０回平野区クリスマスコンサート　公演風景

6月9日　レコーディング風景

２０２１年３月４日　バロック・アラカルト　リハーサル風景

２０２１年２月１３日　市民みんなで創る音楽祭　公演風景

２０２１年１月３１日　第２７６回定期演奏会　リハーサル風景

１１月６日　１８世紀貴族の晩餐会　公演風景

７月３１日　バロック音楽への誘い　公演風景

６月９日　レコーディング風景

１１月６日　１８世紀貴族の晩餐会　公演風景

２０２１年３月２０日　第４７回バロックコンサート　公演風景

TOPICS

CD「延原武春　心のオーボエ Vol.2　アヴェ・マリア」リリース

2020 年 8 月 25 日に延原武春の新譜 CD が発売されました。演奏会の度にお問合せを頂く癒しの名曲ばかりを収録した CD となっております。ジャケットの表紙は「星に願いを　延原武春　心のオーボエ」に引き続き、延原本人が描いた花の絵となっております。

本来であれば 2021 年 1 月の延原武春オーボエ生活 60 周年記念リサイタルと時期を合わせての発売を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い演奏会の開催が難しくなり、特にご来場の難しいご高齢のファンの方々にお聴き頂きたいと、急遽 2020 年 6 月中に収録し、8 月にリリース致しました。

【収録曲】
1. J.S. バッハ／グノー：アヴェ・マリア
2. F. シューベルト：アヴェ・マリア
3. G. カッチーニ：アヴェ・マリア
4. T. アルビノーニ：オーボエ協奏曲 第 2 楽章
5. A. マルチェロ：オーボエ協奏曲 第 2 楽章
6. J-H. フィオッコ：アリオーソ
7. A. ベンジャミン：オーボエ協奏曲 第 3 楽章
8. P. マスカーニ：間奏曲
9. E. モリコーネ：ガブリエルのオーボエ
10. E. サティ：ジムノペディ 第 1 番
11. F. プーランク：愛の小径
12. G. フォーレ：夢の後に
13. 山田耕筰：からたちの花
14. 成田為三：浜辺の歌
15. 小椋佳：愛燦燦
16. 見岳章：川の流れのように
17. 越谷達之助：初恋

【演奏】
オーボエ / オーボエ・ダモーレ：延原武春
テレマン・アンサンブル
　ヴァイオリン：浅井咲乃・三谷彩佳
　ヴィオラ：姜隆光
　チェロ：鷲見敏
　コントラバス：橋本将紀
　チェンバロ：高田泰治
　編曲：中野振一郎（3）
　　南出信一（1,14,17）
　　上塚憲一（16）
　　山下達也（9）
　　今井良（2,6,8,10-13,15）

定期演奏会でベートーヴェンの交響曲の「貴族の邸宅での試演会」を再現

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当協会としては2020年4月から5月の公演は全て中止･延期となりました。同年6月からは入場制限・感染症対策を実施した上でマンスリーコンサートを、7月から定期演奏会を再開致しました。

定期演奏会は「テレマンの街ハンブルクから　中之島をウィーンに！」シリーズとして、クラシカル楽器を使用しウィーン古典派の演目を取り上げる予定となっておりましたが、感染症対策の一環として演奏者の人数を削減するために、ベートーヴェンが貴族の邸宅で実施していた交響曲の試演会を再現するというコンセプトで、弦楽器奏者の人数を極限まで縮小した形で実施致しました。7月の公演ではベートーヴェンの交響曲第1番と第2番を､8月の公演では当初「第九」取り上げるはずでしたが、合唱を含んだ演目は時期尚早ということで第3番と第4番を、10月の公演では第7番と第8番を取り上げました。11月には感染症対策の徹底を条件に、会場である大阪市中央公会堂に合唱を含んだ公演の実施を承諾していただき、史上まれにみる小編成での「第九」の実現に至りました。

18世紀貴族の晩餐会

2020年11月から12月にかけてニューオーサカホテル心斎橋と日本テレマン協会の協働で「18世紀貴族の晩餐会～日本初の『食べながら聴ける』本格コンサート」を開催致しました。会場はニューオーサカホテル心斎橋のレストラン「グロッタ」ですが、本企画を実施する際には「サロン de メランテ」という名称となりました。「メランテ＝ Melante」は作曲家テレマン＝ Telemann のアナグラムとなっており、テレマンがペンネームとして使用した名前です。

本企画スタートの記念として、最初にテレマン作曲「食卓の音楽」全3巻を三夜に分けて演奏致しました。演奏に際して提供致しました料理は、18世紀当時にこの作品とともに提供されていたであろうコース料理を再現致しました。

18世紀当時のレシピについては、国内に文献が存在しないことから、ドイツより資料を取り寄せ、ドイツ語の堪能なソプラノ歌手木村能里子氏に翻訳をして頂きました。

【18世紀当時を再現したメニュー】
・肉の串
・女王のパイ
・ウサギのレンズ豆ピューレ添え
・仔羊のタン羊皮紙包み
・小さな野ウサギ
・鶏のロースト女王風

延原武春オーボエ生活 60 周年記念事業

2021 年はオーボエ奏者であり当協会音楽監督でもある延原がオーボエを始めてから 60 年目に当たる年です。そこで、1 月に東京と大阪で「延原武春オーボエ生活 60 周年記念リサイタル」を開催致しました。

1 月 21 日（大阪市中央公会堂）ではモーツァルトとハイドンのオーボエ協奏曲とハイドンの交響曲第 60 番「うつけ者」を、1 月 29 日（大阪倶楽部）と 1 月 31 日（東京文化会館）ではピアニスト小林道夫氏とのデュオでベートーヴェン、シューマン、山田耕筰らの歌曲を演奏致しました。

また、延原は幼少期に油彩画を本格的に取り組んでおりましたが、60 歳より再開し、2015 年には大阪の老舗画廊である「梅田画廊」で第 1 回の個展を開催致しました。今回はオーボエ生活 60 周年を記念し、上記公演に加えて 2 月に同画廊にて個展も開催致しました。

日本テレマン協会について

日本テレマン協会について

日本テレマン協会は１９６３年、当時音楽大学の学生であった延原武春（現音楽監督・ＣＥＯ）が、作曲家テレマンの作品と音楽に対する理念に感銘を受け創設した、１８世紀の音楽を専門とする演奏団体です。定期演奏会、マンスリーコンサート、教会音楽シリーズの３種類の主催公演を柱として、関西を拠点に５０年以上活動し、これまでに文化庁芸術祭優秀賞やサントリー音楽賞などを受賞しました。２００８年には協会創立４５周年を記念し、初演当時の楽器を使用したベートーヴェンの交響曲全曲公演を開催。このことが契機となり延原武春はドイツから功労勲章功労十字小授章を受賞しました。また、未来の文化の担い手を育てるため、学校などへの出張コンサートにも積極的に取り組んでいます。

２０１９年には創設当時からの演奏会プロデュース活動によるクラシック音楽普及に対する功績が認められ、ベストプロデュース賞を受賞しました。

音楽監督・ＣＥＯ：延原武春
副代表：奥田博子
ヨーロッパ総局長：高野昭夫
ミュージックディレクター／
テレマン室内合唱団指揮者：パブロ・エスカンデ
古典鍵盤楽器奏者：高田泰治
ソロ・コンサートマスター：浅井咲乃
首席客演コンサートマスター：ウッラ・ブンディース
エグゼクティブ・アドヴァイザー：和田誠一郎（弁護士）・永重史郎
オフィス・アドヴァイザー：奥田忠道
アドヴァイザー：辻一郎（元毎日放送取締役）
和田省一（朝日放送音楽振興会理事長）
笠谷和比古（国際日本文化研究センター名誉教授）
上山信一（慶應大学教授／大阪府市特別顧問／愛知県政策顧問）
園﨑明夫（毎日新聞大阪開発株式会社 代表取締役社長）
事務局長：今井　良
事務局：中田吉美・野村茉由

テレマンとは

ゲオルク・フィリップ・テレマン（１６８１年3月１４日～１７６７年６月２５日）は後期バロック音楽のドイツ人作曲家。バッハ、ヘンデルも足元に及ばない高い評価を受けていた作曲家で、大変な多作家としても有名です。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集。延原武春はテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲している」という言葉に感銘を受け、その名前をかかげた楽団を結成しました。

テレマンは大変面倒見の良い人でもあったそうで、バッハの次男の名付け親でもあり、また自身が音楽監督を務めていたハンブルクで臨終の時を迎える際、後継者にその「次男」カール・フィリップ・エマニュエルを指名したという逸話も残っています。またヘンデルとの親交は深く、ヘンデルはロンドンから様々な珍しい植物をテレマン宛に送っていたそうです。さらに、テレマンが「食卓の音楽」を出版する際、予約者の最初の方にヘンデルの名が入っていたことも有名な話です。

延原武春　TAKEHARU NOBUHARA（日本テレマン協会　音楽監督・ＣＥＯ）

１９６３年 日本テレマン協会の前身である“テレマン・アンサンブル”を結成。 以来５０年余の歳月を経てその業績は目覚ましく、日本におけるバロック音楽の探究と普及という専門的領域のみならず､その広い視野と行動力によって、特に西日本の音楽文化の広範な普及に多大な貢献をもたらした後、近年では長年の古楽探究を礎とした音楽解釈とその熟練された手腕を持つ巨匠指揮者としての今後が多いに嘱望されている。

指揮者としてライプツィヒ放送交響楽団やゲヴァントハウス・バッハ・オーケストラなどをはじめとする海外のオーケストラとの共演の機会が幾度もあったにも関わらず、その主眼はあくまでも自らが創設した日本テレマン協会での活動に注がれた。

１９７０年代後半からその評価は関西を超えて全国的なものとなり、テレマン室内オーケストラ・テレマン室内合唱団との演奏は文化庁芸術祭・優秀賞やサントリー音楽賞を受賞するまでに高く評価されることなり、さらにはライプツィヒで開催されたバッハ生誕３００周年記念国際音楽祭に日本の団体としては唯一招かれる等、ドイツ各地やロンドン、パリ、ボルドーなどにも招聘され、M. アンドレ、F, アーヨ、M. ラリュー、J.P. ランパル、H.J. シェレンベルガー、P. ダム、A. ビルスマ、G. カーなどの名手との共演の他、J.E. ガーディナー、F. ブリュッヘン、C. ホグウッド、G. ボッセらとも親しく交流することとなる。 延原武春の音楽的業績は、教会の聖堂を舞台としてテレマン作曲の『マタイ受難曲』やマテゾン、テレマン、ヘンデル、カイザーが競作した『ブロッケス受難曲』など本邦初演、ヘンデルの『メサイア』９種類の異版を１年に一版ごと取り上げるなど枚挙に暇がないが、殊にユニークなのが１９８２年にベートーヴェンの第九交響曲を初演当時の編成と作曲者指定のテンポに従って演奏すること・・・これはその当時としては極めて斬新なアプローチであったため、ガーディナーやホグウッドといった古楽演奏家達が延原の第九の録音を所望したというエピソードは大変興味深い。 延原のベートーヴェンに対するアプローチはこれに留まるものではなく、２００６年には第九交響曲をクラ

シカル楽器（古典派時代の楽器）で演奏。さらに２００８年にはクラシカル楽器によるベートーヴェン：交響曲全曲・合唱幻想曲・ミサ・ソレムニス・ツィクルスを挙行。これが契機となり延原は『ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小授章』を授賞することとなった。 延原の活動の中心には常に日本テレマン協会が存在してきたことは言うまでもないことだが､その合間には海外楽団からの招聘や、岩城宏之音楽監督時代のオーケストラ・アンサンブル金沢や九州交響楽団などからバロックから古典のレパートリーのスペシャリストとして招かれることもあった。２００９年には久しぶりに大阪フィルに客演することとなり、２０１０年～１２年には大阪フィルは延原とともにベートーヴェン；交響曲全曲シリーズを主催。「『大阪フィルの次代を拓く』と言って過言ではない名演」と「『田園』がかくも力強く、生命力にみちた音で鳴り響いたことはなかったのではないか」（評:故小石忠男／日本経済新聞９月３０日夕刊）などと絶賛を博するなど一際大きな話題となった。 また、同時期に日本フィル横浜定期演奏会にも客演。その際のブラームス：交響曲第１番（第２楽章は初稿）は EXTON レーベルからＣＤ化された。２０１１年には延原の元に多くのプレイヤーが集う”一日だけのオーケストラ“として orchestra Japan 2011 が結成され、マーラー:交響曲 第４番を演奏。その演奏はライヴノーツ・レーベルからリリースされ『レコード芸術』誌で特選盤に選ばれ、これらの成果が契機となってこのオーケストラは２０１２年にも再結集され、京都・大阪・神戸でやはりロマン派のレパートリーを取り上げている。 かつて、アーノンクールやガーディナーといった古楽のスペシャリストたちがヨーロッパのモダン・オーケストラから指揮者として招かれるようになったのと似通ったムーブメントが今、延原武春のもとにも起ころうとしている。

２０１６年、日本テレマン協会の CEO に就任。２０１８年には第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。

テレマン室内オーケストラ　Telemann Chamber Orchestra

１９６３年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。サントリー音楽賞を受賞した日本初のプロオーケストラでもある(同賞は現在も当協会と東京交響楽団、京都市交響楽団以外のプロオーケストラは受賞していない)。そのほかの主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」（関西初）等。

１９９０年バロック・ヴァイオリン奏者のサイモン・スタンデイジをミュージック・アドヴァイザーとし、バロック楽器（１８世紀当時の楽器およびそのレプリカ）による演奏を始める。２００３年にはドイツのバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ・フェスティバル」に出演し、C.P.E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。

２００６年からはクラシカル楽器（古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ）による演奏を始め、２００７年には同楽器による F.J. ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。

「マンスリーコンサート」（会場は大阪倶楽部４階ホール）を舞台に「聴衆とともにつくる価値」の創造に力を入れ、そこをベースに様々な奏者を輩出している。チェンバロおよびフォルテピアノの高田泰治、ヴァイオリンの浅井咲乃などはその代表的な存在として注目を集めている。

２０１２年にはドイツよりバロック・ヴァイオリン奏者ウッラ・ブンディース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。

２０１８年、第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。

テレマン室内合唱団　Telemann Chamber Chorus

１９６９年に延原武春が創設した合唱団。主にテレマン室内オーケストラとともに演奏活動を続けており、１９８５年には「J.S. バッハ生誕３００年記念国際音楽祭」に、日本から唯一招待され参加し現地新聞等やその外電も含め当時大きな評判となる。ホームグラウンドとも言うべきカトリック夙川教会に於ける年４回の「教会音楽シリーズ」は、最も大きな活躍の場となっている。これまでに、ヘンデルの１０種類の違ったバージョンを年一回のサイクルで連続的に公演した「メサイア１０年連続公演シリーズ」、「ヘンデル本邦初演オラトリオシリーズ」、幻のテレマン作受難曲集の公演「テレマンプロジェクト」、また「延原武春の受難曲シリーズ」を開催するなど、数多くの挑戦的な試みに取り組み、多くの注目と称賛の声を集めている。

特に、大阪のザ・シンフォニーホールにて１９８３年にスタートした「１００人の第九」と題された公演にはテレマン室内オーケストラと共に出演し、現在でも連続的に継続中しており、人気シリーズとして関西のクラシック音楽の名物公演になっている。

創立５０周年を機に、パブロ・エスカンデ氏が合唱団指揮者に、中村朋子氏がディレクターに就任した。エスカンデ氏は、オランダで作曲家、鍵盤楽器奏者、合唱指揮者としての活躍を経て２０１２年来日。彼のプログラミングにより、これまで得意としてきた後期バロック時代の作品に加え、初期バロック時代の音楽にも力を入れていくこととなり、新たなレパートリーの拡大とともに、今後の更なる発展が期待される。

公演記録

【計画時】
主催公演　　１６公演
　定期演奏会　８公演
　マンスリーコンサート　７公演
　その他　１公演
依頼公演　　４０公演
合　　計　　５６公演

【報告時】
主催公演　　１６公演
　定期演奏会　８公演
　マンスリーコンサート　７公演
　その他　１公演
依頼公演　　５８公演
合　　計　　７４公演

延期　主催　３公演／依頼　５公演
中止　主催１４公演／依頼４１公演

定期演奏会　Subscription Concert

【延期】日本テレマン協会　第 268 回定期演奏会

日　　時	2020 年 4 月 6 日 18:30
会　　場	大阪市中央公会堂 3F 中集会室
備　　考	当初はベートーヴェン「第九」を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、8 月 24 日に延期となりました。

【中止】日本テレマン協会　第 269 回定期演奏会

日　　時	2020 年 4 月 30 日 18:30
会　　場	東京文化会館小ホール
備　　考	当初はドイツより U. ブンディース氏を招聘して開催する予定となっていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で同氏の来日が取りやめとなり、感染拡大状況を考慮して中止と致しました。

日本テレマン協会 第 270 回定期演奏会

日　　時	2020 年 7 月 16 日 18:30
会　　場	大阪市中央公会堂 3F 中集会室
曲　　目	A. サリエリ：歌劇「ホーラス兄弟」序曲 L.v. ベートーヴェン：交響曲第 1 番・第 2 番
出　　演	指揮：延原武春　テレマン室内オーケストラ
来場者数	85
備　　考	新型コロナウイルス感染症対策として、弦楽器の編成を第 1 及び第 2 ヴァイオリンとヴィオラは各 2 名、チェロとコントラバスは各 1 名と極限まで小さくした形で実施致しました。単純に編成を削るだけではなく、実際にベートーヴェンが交響曲の初演に先立ち、貴族の邸宅で実施したとされる試演会を再現するというコンセプトで実施致しました。

【延期】日本テレマン協会 第 271 回定期演奏会

日　　時	2020 年 7 月 26 日 14:30
会　　場	東京文化会館小ホール
備　　考	新型コロナウイルス感染拡大に伴い 11 月に延期となりました。

日本テレマン協会 第 272 回定期演奏会

日　　時	2020 年 10 月 16 日 18:30
会　　場	大阪市中央公会堂 3F 中集会室
曲　　目	A. サリエリ：歌劇「ムーア人」序曲 L.v. ベートーヴェン：交響曲 第 7 番・第 8 番
出　　演	指揮：延原武春　テレマン室内オーケストラ
来場者数	148
備　　考	第 270 回、第 268 回と同様、貴族の邸宅での試演会の再現というコンセプトで実施致しました。

日本テレマン協会 第 268 回定期演奏会

日　　時	2020 年 8 月 24 日 18:30
会　　場	大阪市中央公会堂 3F 中集会室
曲　　目	A. サリエリ：歌劇「トロフォーニオの洞窟」序曲 L.v. ベートーヴェン：交響曲 第 3 番「英雄」・第 4 番
出　　演	指揮：延原武春　テレマン室内オーケストラ
来場者数	128
備　　考	第 270 回定期演奏会と同様のコンセプトで実施致しました。当初はベートーヴェン作曲交響曲第 9 番を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で合唱を伴った内容の実施が難しかったことから、内容を変更して実施致しました。

日本テレマン協会第 271 回定期演奏会

日　　時	2020 年 11 月 1 日 14:30
会　　場	東京文化会館小ホール
曲　　目	ベートーヴェン：ピアノソナタ 第 5 番、第 8 番「悲愴」 第 10 番、第 14 番「月光」 サリエリの主題による変奏曲
出　　演	フォルテピアノ：高田泰治
来場者数	216
備　　考	7 月 26 日の延期公演として実施致しました。グレーバー製のオリジナル・フォルテピアノを使用致しました。

日本テレマン協会第 273 回定期演奏会

日　　時	2020 年 11 月 26 日 18:30
会　　場	大阪市中央公会堂 3F 中集会室
曲　　目	A. サリエリ：歌劇「ダナイード」序曲 L.v. ベートーヴェン：交響曲第 9 番「合唱付き」
出　　演	指揮 : 延原武春 ソプラノ：中村朋子　アルト：渡邊由美子 テノール：鹿岡晃紀　バス：篠部信宏 テレマン室内合唱団　テレマン室内オーケストラ
来場者数	149
備　　考	4 月に予定していた「第九」の延期公演となりました。感染症対策の徹底を条件に実現することが出来ました。楽団・合唱団共に可能な限り編成を縮小し、国内では例を見ない小編成の「第九」となりました。

日本テレマン協会第 274 回定期演奏会

日　　時	2020 年 12 月 6 日 14:30
会　　場	東京文化会館小ホール
曲　　目	J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲
出　　演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	231
備　　考	例年開催しているバッハ「ゴルトベルク変奏曲」の公演。予定通り開催することが出来ました。

日本テレマン協会第 275 回定期演奏会

日　　時	2021 年 1 月 21 日 18:30
会　　場	大阪市中央公会堂 3F 中集会室
曲　　目	W.A. モーツァルト：ディヴェルティメント オーボエ協奏曲 F.J. ハイドン：オーボエ協奏曲 交響曲第 60 番「うっかり者」
出　　演	指揮・オーボエ：延原武春 テレマン室内オーケストラ
来場者数	96
備　　考	延原武春のオーボエ生活 60 周年記念公演として実施致しました。延原はオーボエ奏者として協奏曲 2 曲を、指揮者としてハイドンの交響曲を演奏致しました。

日本テレマン協会第 276 回定期演奏会

日　　時	2021 年 1 月 31 日 14:30
会　　場	東京文化会館小ホール
曲　　目	J.S. バッハ：オーボエ・ソナタ 第 1 楽章 L.v. ベートーヴェン：君を愛す、蚤の歌 口づけ、アデライーデ R. シューマン：女の愛と生涯 山田耕筰：「この道」「赤とんぼ」「からたちの花」
出　　演	オーボエ：延原武春　ピアノ：小林道夫
来場者数	179
備　　考	第 275 回同様、延原のオーボエ生活 60 周年記念公演として実施致しました。ピアニストの小林道夫氏との共演で歌曲を演奏致しました。

マンスリーコンサート　Monthly Concert

【延期】日本テレマン協会 第 510 回マンスリーコンサート

日　　時	2020 年 5 月 1 日 18:30
会　　場	大阪倶楽部 4F ホール
備　　考	新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となりました。

【延期】日本テレマン協会 第 509 回マンスリーコンサート

日　　時	2020 年 5 月 12 日 18:30
会　　場	大阪倶楽部 4F ホール
備　　考	3 月 27 日分の延期公演として予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で再延期となりました。

日本テレマン協会 第 509 回マンスリーコンサート

日　　時	2020 年 6 月 12 日 18:30
会　　場	大阪倶楽部 4F ホール
曲　　目	J.S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集第 1 巻
出　　演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	72
備　　考	第 1 番のプレリュードが非常に有名な曲集ですが、全曲での公演はあまり機会がありません。また、新型コロナウイルス感染拡大後、初めての公演となり、感染症対策も実施しての公演となりました。

日本テレマン協会第 510 回マンスリーコンサート

日　　時	2020 年 6 月 22 日 18:30
会　　場	大阪倶楽部 4F ホール
曲　　目	G.Ph. テレマン：フルート協奏曲 G.Ph. テレマン：ヴィオラ協奏曲 J.S. バッハ：ヴァイオリン協奏曲 第 1 番 G.Ph. テレマン：トランペット協奏曲 J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏
出　　演	指揮：延原武春　チェンバロ：高田泰治 フルート：森本英希　トランペット：福中明 ヴァイオリン：浅井咲乃　ヴィオラ：姜隆光 テレマン室内オーケストラ
来場者数	77
備　　考	5 月 1 日分の延期公演。本来はドイツより U. ブンディース氏を招いて実施するはずでしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で同氏の来日がかなわず、演目を変更して実施しました。

日本テレマン協会第 511 回マンスリーコンサート
フランス語で歌うシャンソン Vol.11

日　　時	2020 年 9 月 25 日 18:30
会　　場	大阪倶楽部 4F ホール
曲　　目	G. ビゼー：「カルメン」より「ハバネラ」 J. マスネ：タイスの瞑想曲 C. ドビュッシー：弦楽四重奏曲 第 1 楽章 オー・シャンゼリゼ、パリに帰りて 再会、パダン・パダン、ろくでなし ほか
出　　演	指揮：延原武春 ヴォーカル：梨里香、永海孝 ストンプ in TELEMANN テレマン・アンサンブル
来場者数	125
備　　考	毎年恒例のシャンソンの公演。前半はフランスのクラシック音楽の有名な演目を取り上げました。

日本テレマン協会第 512 回マンスリーコンサート
高田泰治～ J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲～

日　　時	2020 年 12 月 1 日 18:30
会　　場	大阪倶楽部 4F ホール
曲　　目	J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲
出　　演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	51
備　　考	毎年恒例のゴルトベルク変奏曲の公演。新型コロナウイルスの感染が再拡大したことで、集客がかなり落ち込みました。

【中止】日本テレマン協会第 513 回マンスリーコンサート

日　　時	2020 年 12 月 23 日 18:30
会　　場	大阪倶楽部 4F ホール
備　　考	クリスマス・コンサートを予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

日本テレマン協会第 514 回マンスリーコンサート

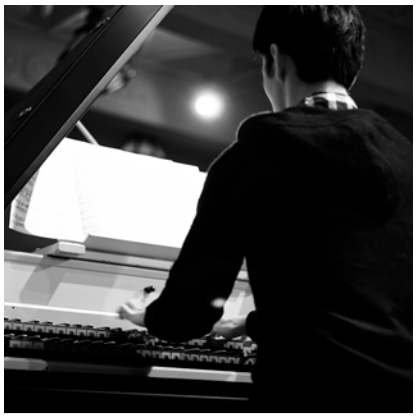
日　　時	2021 年 1 月 29 日 18:30
会　　場	大阪倶楽部 4F ホール
曲　　目	J.S. バッハ：オーボエ・ソナタ 第 1 楽章 L.v. ベートーヴェン：君を愛す 、蚤の歌 口づけ、アデライーデ R. シューマン：女の愛と生涯 山田耕筰：「この道」「赤とんぼ」「からたちの花」
出　　演	オーボエ：延原武春　ピアノ：小林道夫
来場者数	106
備　　考	第 276 回定期演奏会と同様の内容で、延原のオーボエ生活 60 周年記念公演として、ピアニストの小林道夫氏との共演で歌曲を演奏致しました。

日本テレマン協会第 515 回マンスリーコンサート
My Funny Valentine

日　　時	2021 年 2 月 12 日 18:30
会　　場	大阪倶楽部 4F ホール
曲　　目	ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第 12 番 第 1 楽章 踊り明かそう、バーモントの月 サイドバイサイド、愛さずにはいられない 私を月に連れてって、ラブレターほか
出　　演	指揮：延原武春 ヴォーカル：原田紀子、永海孝 ストンプ in TELEMANN テレマン・アンサンブル
来場者数	74
備　　考	毎年恒例のスタンダード JAZZ の公演。前半にはドヴォルザークの弦楽四重奏曲「アメリカ」を取り上げました。

日本テレマン協会第 516 回マンスリーコンサート
高田泰治チェンバロリサイタル

日　　時	2021 年 3 月 26 日 18:30
会　　場	大阪倶楽部 4F ホール
曲　　目	D. スカルラッティ：ソナタ K.6 ヘ長調、K.9 ニ短調、K.33 ニ長調 K.53 ニ長調、K.87 ロ短調、K.175 イ短調 K.516 ニ短調、K.517 ニ短調 J.S. バッハ：イギリス組曲 第 3 番 A. ソレール：ファンダンゴ
出　　演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	75
備　　考	スカルラッティのソナタやそれ―るのファンダンゴといった、珍しいスペインゆかりの演目が並びました。



その他の主催公演　Other Concerts

高田泰治のフランス音楽　Vol.7
日時　2020 年 11 月 22(日)　14 時開演
会場　稲畑ホール

依頼公演について

新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの依頼公演が中止・延期となりましたが、自治体、企業、団体、ホールなどからの依頼公演を５８公演開催し、１８世紀音楽の普及に努めるとともに、都心部から離れた会場での公演では、地域のサロンづくりに貢献することが出来ました。感染症対策として会場キャパシティの半分の入場者しか認められない時期が続きましたので、例年よりも編成を縮小した形で実施した公演や、公演時間を短縮して２回に分けて公演を実施することで動員数を確保するなど、いずれの公演も試行錯誤しながらの実施となりました。

単年度ではなく、継続的にご依頼いただいている公演は「第九 de クリスマス（大阪市／ザ・シンフォニーホール）」、「バロックコンサート（池田市／池田市民文化会館）」、「テレマンのバロックの宴（伊丹市／旧岡田家住宅・酒蔵）」、「学園前公演（奈良市／学園前ホール）」、「テレマンコンサート in 中崎公会堂（明石市／中崎公会堂）」などとなっております。

依頼公演の分布（月別）

	依頼公演	（主催公演）
４月	０公演	（　０公演）
５月	０公演	（　０公演）
６月	０公演	（　２公演）
７月	７公演	（　１公演）
８月	０公演	（　１公演）
９月	７公演	（　１公演）
１０月	７公演	（　１公演）
１１月	１３公演	（　３公演）
１２月	７公演	（　２公演）
（２０２１年）		
１月	２公演	（　３公演）
２月	４公演	（　１公演）
３月	１１公演	（　１公演）
合計	５８公演	（１６公演）

依頼公演の分布（地域別）

北海道		石川県		岡山県	
青森県		福井県		広島県	
岩手県		山梨県		山口県	
宮城県		長野県		徳島県	
秋田県		岐阜県	３公演	香川県	
山形県		静岡県		愛媛県	
福島県		愛知県	２公演	高知県	
茨城県		三重県	１公演	福岡県	
栃木県		滋賀県		佐賀県	
群馬県		京都府		長崎県	
埼玉県		大阪府	３６公演	熊本県	
千葉県		兵庫県	９公演	大分県	
東京都		奈良県	３公演	宮崎県	２公演
神奈川県		和歌山県		鹿児島県	２公演
新潟県		鳥取県		沖縄県	
富山県		島根県		その他	

学校公演について

2020年度の学校公演も新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの公演が中止・延期となり、例年受託しております文化庁の文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―（以後　文化庁巡回公演）も、かなり変則的な形での実施となりました。

文化庁巡回公演は鑑賞だけではなく体験にも重点を置いた事業であるため、公演に際しては共演のプログラムを用意し、事前に別日程のワークショップを実施しています。公演の内容は、バロック時代の有名な曲を中心に構成し、鑑賞する児童・生徒に馴染みの深いリコーダーの独奏曲や協奏曲などを取り上げております。基本的には短い曲が多い構成となっていますが、プログラムを順にお聴き頂くと、各弦楽器からチェンバロ、トランペットと、バロック音楽のオーケストラで使用されている楽器について学べるように構成されています。さらに、プログラムにはバロック音楽や楽器についての簡便な説明も掲載しています。（右写真）

2020年度の公演では接触機会の軽減のため、ワークショップを実施しない場合や、ワークショップ内容を収録した動画教材を送付することでワークショップの代替措置とする場合がありました。また、本公演では密集を避けるために通常は90分の公演を45分×2回公演にし、鑑賞人数を減らすなどの試みを実施しました。

◎巡回公演事業とは

文化庁が選定した文化芸術団体が，学校の体育館や文化施設でオーケストラ，演劇等の巡回公演を行います。 本公演前に文化芸術団体が実施校へ赴き，鑑賞指導や実技指導を行うワークショップでは，公演の鑑賞や児童・生徒との共演をより効果的なものとすることができます。 普段授業などで使っている体育館が，工夫次第で素晴らしい舞台へと変わっていく様子を体感することができます。

（文化芸術による子供の育成事業ホームページより）

文化庁巡回公演の日程

【ワークショップ】
　７月１４日　都城市立高崎小学校
　　　　　　　　※本公演は辞退
　７月１６日　都城市立富吉小学校
　　　　　　　　※本公演は辞退
１０月２０日　志布志市立松山中学校
　　　　　　　　※本公演当日に実施
１１月１７日　郡上市立郡南中学校
　　　　　　　　※本公演当日に実施

※下記開催校にはワークショップの代替措置として教材を送付
郡上市立大和南小学校
大阪市立鶴橋小学校
五條市立五條東小学校
大阪市立塩草立葉小学校

【当初の実施日程】
　９月１４日　大分市立南大分小学校
　９月１５日　延岡市立黒岩小中学校
　９月１６日　日南市立吾田中学校
１０月　５日　都城市立高崎小学校
１０月　６日　鹿児島県立鹿屋養護学校
１０月　７日　都城市立富吉小学校
１０月　９日　薩摩川内市立海星中学校
１０月２０日　志布志市立松山中学校
１０月２１日　霧島市立国分北小学校

【実際の実施日程】
１０月２０日 志布志市立松山中学校
１１月１６日 郡上市立大和南小学校☆
１１月１７日 郡上市立郡南中学校
１１月１８日 大阪市立鶴橋小学校
（２０２１年）
２月　５日 五條市立五條東小学校☆
２月１５日 大阪市立塩草立葉小学校☆

【開催辞退校】
大分市立南大分小学校
延岡市立黒岩小中学校
日南市立吾田中学校
都城市立高崎小学校
都城市立富吉小学校
鹿児島県立鹿屋養護学校
薩摩川内市立海星中学校
霧島市立国分北小学校
神戸市立有馬中学校

※「☆」の開催校は感染症対策の一環で密集を避けるために２回に分けて公演を実施。

年　表

1960s

1963
延原武春を中心にテレマンアンサンブル発足。
（現：テレマン室内オーケストラ）

1965
定期演奏会スタート。

1966
大阪文化祭賞（以後 72 と 82）

1968
マンスリーコンサートスタート（会場は津村別院）

1969
テレマン室内合唱団が発足し、室内楽における総合団体「大阪テレマン協会」となる。

1970s

1970
音楽クリティッククラブ賞（以後 75 と 76）

1975
大阪府民劇場賞（以後 85）

1977
文化庁芸術祭優秀賞（関西より初受賞）
ビクターレコード制作「テレマン協会シリーズ」発売開始。

1980s

1981
G.Ph. テレマン生誕 300 年を記念し、コンサート（文化庁芸術祭主催）、出版、レコードを発売。

1982
定期演奏会にて L.v. ベートーヴェン交響曲第 9 番「合唱付」を合唱団･オーケストラ合わせて 100 人で演奏（100 人の第九）。
テレマン室内管弦楽団がドイツへ演奏旅行。テレマンの生地マクテブルクでの公演実現。

1984
マンスリーコンサートの会場が大阪倶楽部になる。

1985
テレマン室内合唱団・同管弦楽団総勢 70 名、東ドイツへ演奏旅行。（“バッハ生誕 300 年記念国際音楽祭”に出演）
サントリー音楽賞（関西より初受賞）

1987
「ベルリン市制 750 年記念音楽祭」に参加。また、ロンドンデビュー公演を実現。
「ソウル国際音楽祭」参加。日本の室内楽団では初の韓国公演。

1989
テレマン室内合唱団が創立 20 周年を迎え、教会音楽シリーズも 100 回記念演奏会を行う。
フランス革命 200 年を記念し、パリ、ボルドー、ヴァルドアーズ各都市で公演を行う。

1990s

1991
バロック楽器の団体「コレギウム・ムジクム・テレマン」が発足。サイモン・スタンデイジや中野振一郎主導のもとで、様々な試みに着手。海外公演やＣＤ収録の他、数多くの本邦初演・世界初演を行う。
G.F. ヘンデル「メサイア」の異なった 9 種の版を連続的に公演。（～ 01）

1993
季刊誌「ゲオルク」創刊（～ 03）

1995
G.F. ヘンデルの権威・故渡部恵一郎氏の監修のもと、ヘンデル作曲の本邦初演のオラトリオをジェスチャー付きで連続公演。（～ 01）

1999
中野振一郎＆コレギウム・ムジクム・テレマンによるドイツ演奏旅行。

2000s

2000
ヘンデルのオラトリオ公演にて、上方講談師・旭堂南左衛門が共演。
琵琶湖水質浄化の紙の使用開始。演奏会を通した環境改善活動に着手。
小説「延原武春」（作：中野順哉）が東方出版より出版。
【ＣＤ】「J.S. バッハ：チェンバロ協奏曲集」

2002
御当地の歴史を取材した創作講談とのコラボレーション「音楽絵巻」がスタート。
高田泰治がチェンバロ、フォルテピアノ、ピアノを弾き分ける協奏曲の夕べに出演し、ソリストデビュー。
【ＣＤ】「ラ・フォリア」
【ＣＤ】「バッハ以降のチェンバロ協奏曲集」

2003
中野振一郎率いるコレギウム・ムジクム・テレマンがドイツへ演奏旅行。「バッハ・フェスティバル in ライプツィヒ 2003」に出演し、C.P.E. バッハ作曲「チェンバロ協奏曲」

の復元後、世界初演を行う。
【ＣＤ】「オーボエ協奏曲・バロック名曲集」

2004
【ＣＤ】「星に願いを」

2007
ハイドン作曲オラトリオ「四季」の公演が大阪文化祭グランプリ受賞。

2008
協会創立 45 周年を記念して、延原指揮によるベートーヴェン交響曲全曲及び合唱幻想曲、荘厳ミサ曲連続公演を開催。
ベートーヴェンの指示したテンポとクラシカル楽器の使用によるこの公演は高く評価されＣＤに。
【ＣＤ】「テレマン作品集②７つのトリオ・ソナタ」

2009
【ＣＤ】「ベートーヴェン・チクルス」リリース。（～ 11）
延原、ドイツ連邦共和国より功労勲章を受章。
延原が大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮するシリーズ（ベートーヴェン交響曲全曲）が始まる。
「テレマン室内管弦楽団」改め「テレマン室内オーケストラ」に改称。

2010s

2010
延原、日本フィルハーモニー交響楽団の横浜定期演奏会を指揮。

2011
コレギウム・ムジクム・テレマン解散。
「指揮者・延原で」というコンセプトをもとに、関西在住のフリーランスの奏者を集めオーケストラ Orchestra Japan 2011 を結成し、マーラー交響曲第 4 番を演奏。
【ＣＤ】「ブラームス：交響曲第１番」
【ＣＤ】「高田泰治チェンバロ・アルバム Vol.1」
ウッラ･ブンディース、首席客演コンサートマスターに就任。

2012
延原、Orchestra Japan 2011 を率いてドヴォルザーク交響曲「新世界より」を好演。
【ＣＤ】「マーラー『亡き児を偲ぶ歌』『交響曲第 4 番』（「レコード芸術」特薦盤）
【ＣＤ】「浅井咲乃：ヴィヴァルディ『ムガール大帝』」
創立５０周年事業「大大阪ターフェルムジーク」を開催。

2013
【ＣＤ】「U. ブンディース 高田泰治 J.S. バッハ 6 つのソナタ」
Orchestra Japan 2011 を再結成し、３月１１日にレクイエムを奏で続ける追悼公演を開始。

2014
ブランデンブルク州知事に対し、J.S. バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲を大阪にて連続公演することを公約しシリーズ開始。
大阪市中央公会堂での定期演奏会がスタート。

2015
【ＣＤ】「高田泰治 モーツァルト・アルバム」
【ＣＤ】「U. ブンディース 高田泰治 モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ」
中野、シンポジウム「18 歳の選挙権で『機嫌よう暮らす』を考える」を関西領事団とともに開催。

2016
【ＣＤ】「高田泰治 うつろい」、
【ＣＤ】「高田泰治　J.S. バッハ　ゴルトベルク変奏曲」
高田泰治がシーボルト賞受賞式にてドイツ大統領御前演奏に出演。
延原武春が音楽監督兼 CEO に就任。

2017
高田泰治が平成２８年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。
【ＣＤ】「U. ブンディース　高田泰治 古典派二重奏曲の系譜」
定期演奏会「中之島をウィーンに！」シリーズがスタート。

2018
創立５５周年記念事業「テレマンの街ハンブルクから　中之島をウィーンに！」を開催。
延原武春指揮テレマン室内オーケストラが、第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。
【CD】「高田泰治ベートーヴェン・アルバム」

2019
浅井咲乃が平成３０年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。
４月、マンスリーコンサートが５００回を迎える。
５月、P. エスカンデ氏がテレマン室内合唱団指揮者に就任。
11 月、ベスト・プロデュース賞を受賞。
【CD】「ブランデンブルク協奏曲 全曲」
「高田泰治　ショパン＆シューマン　ピアノ協奏曲集」

2020
定期演奏会大阪公演で新型コロナウイルス感染症対策も兼ねた縮小編成のベートーヴェンの交響曲シリーズを実施し、ベートーヴェンが貴族の邸宅で実施していた試演会を再現。
ニューオーサカホテル心斎橋にてテレマン作曲「食卓の音楽」と 18 世紀当時のメニューを再現したディナーとのコラボレーション企画「18 世紀貴族の晩餐会」を実施。
【CD】「延原武春　心のオーボエ Vol.2　アヴェ・マリア」

2021
延原武春オーボエ生活 60 周年を記念し、リサイタル 2 公演と個展を実施。

日本テレマン協会後援会について

1980 年、故鈴木剛氏（元住友銀行頭取）が中心となり日本テレマン協会の活動を支援するために発足。現在は多くの法人、個人の皆様にご加入いただき、さらなる会員の拡大を目指して積極的な活動を続けています。

役員名簿

2020 年 7 月現在

会　　長	尾崎　裕（大阪ガス）
副 会 長	高田幸徳（住友生命保険） 沖中　進（朝日放送グループホールディングス）
理　　事	福田里香（パナソニック） 原　眞一（コーナン建設） 北山　隆（大阪音楽大学名誉教授） 宮島登美子（大阪ユニセフ協会） 小野敏夫（クラシック音楽興隆会） 室町鐘緒（三菱 UFJ 銀行） 武市泰夫（関西電力） 井上礼之（ダイキン工業） 穂積一郎（三井住友銀行） 小林哲也（近鉄グループホールディングス） 佐野吉彦（安井建築設計事務所） 入谷泰生（日本クルーズ客船） 鳥井信吾(サントリーホールディングス) 吉田有宏（千寿製薬） 杉浦　正（共和メディカル） 川崎益彦（桜宮ゴルフクラブ） 大林剛郎（大林組）
監　　事	稲畑勝太郎（稲畑産業） 陳　英智（三洋実業）
特別顧問	野村明雄（大阪ガス）
顧　　問	井戸敏三（兵庫県知事） 荒井正吾（奈良県知事） 久元喜造（神戸市長） かれん・ケリー（アメリカ総領事） ヴェルナー・ケーラー（ドイツ総領事） セーラ・ウテン（イギリス総領事） ジャン＝マチュー・ボネル（フランス総領事） ヘラルド・ミヘルス（オランダ総領事） リャボフ・オレグ（ロシア総領事） ルイージ・ディオダーティ（イタリア総領事） イエルーン・ヴェルゲイレン（ベルギー大使館公使参事官） ブ・トアン・ハイ（ベトナム総領事） クリット・タンカナラット（タイ総領事） 呉　泰奎（駐大阪大韓民国総領事） 多川俊映（興福寺寺務老院） ロニー・アレキサンダー（神戸大学大学院教授） 池長　潤（カトリック大司教） 千　宗守（武者小路千家家元） 高口恭行（一心寺長老） 小野善康（経済学者） 高木慶子（上智大学グリーフケア研究所） 前田万葉（カトリック　枢機卿）

年表

1980s

1980
5 月発足。第 1 回理事会開催。会長に鈴木剛氏が就任。

1982
3 月、理事会にて顧問の設置が承認され、11 月には顧問が決定。
12 月、鈴木剛氏の逝去に伴い、原清氏が第 2 代目の会長に就任。

1990s

1990
10 月、原清氏急逝。

1991
故原会長の後を受けて、監事の波多野一雄氏が第 3 代目の会長に就任。

1997
7 月、大西正文氏が第 4 代目の会長に就任。

2000s

2007
7 月、野村明雄氏が第 5 代目の会長に就任。

2010s

2016
7 月、尾崎裕氏が第 6 代目の会長に就任。

法人会員

2020 年 7 月現在

株式会社アークエース
株式会社ＩＨＩ 関西支社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
愛知時計電機株式会社大阪支店
医療法人 友仁会 浅井整形外科
朝日放送テレビ株式会社
稲畑産業株式会社
今津建設株式会社
江崎グリコ株式会社
株式会社遠藤克彦建築研究所
株式会社エンポウ
大阪ガス株式会社
大阪ガス株式会社 東京支社
株式会社大林組 大阪本店
株式会社カネカ
関西テレビ放送株式会社
関西電力株式会社
株式会社共和コーポレーション
近鉄グループホールディングス株式会社
株式会社きんでん
株式会社クボタ
株式会社公益社
鴻池運輸株式会社
有限会社神戸楽譜
株式会社公洋
株式会社コジマ
コーナン建設株式会社
西部ガス株式会社 東京事務所
桜宮ゴルフクラブ株式会社
株式会社産業経済新聞社
三幸メリヤス株式会社
サントリーホールディングス株式会社
住まいの情報 三宝商会
ＪＦＥエンジニアリング株式会社
ＪＦＥスチール株式会社
株式会社芝川本店
情報技術開発株式会社
株式会社新川製作所
新コスモス電機株式会社
シンプルライフ２１
住友生命保険相互会社
千寿製薬株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
ダイキン工業株式会社
株式会社大広
株式会社大丸松坂屋百貨店
大和ハウス工業株式会社
株式会社竹中工務店
株式会社丹陽商会
株式会社帝国ホテル
株式会社データコントロール
株式会社電通 関西支社
東京海上日動火災保険株式会社
東京ガス株式会社
東邦ガス株式会社
中井エンジニアリング株式会社
中西金属工業株式会社
名古屋 宗次ホール
南海電気鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
日鉄Ｐ＆Ｅ株式会社
日本クルーズ客船株式会社
日本生命保険相互会社
株式会社博報堂関西支社
パナソニック株式会社
阪急電鉄株式会社
非破壊検査株式会社
フルライン株式会社
株式会社三井住友銀行
三菱電機株式会社
株式会社三菱ＵＦＪ銀行
矢崎エナジーシステム株式会社 大阪支店
株式会社安井建築設計事務所
一般財団法人山田満音楽芸術振興会
読売新聞大阪本社
讀賣テレビ放送株式会社
学校法人ＬＡＢＯ－Ｋ学園
株式会社りそな銀行
株式会社ロイヤルホテル
ロックペイント株式会社
株式会社ワキタ
匿名３社

個人会員

2020 年 7 月現在

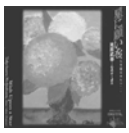
安積博子　小野敏夫　小浦早苗　白石可居　津越悦郎　福居誠二　山口佳恵子
天野和生　小野久恵　小林　誠　杉浦　正　津田直樹　藤田直照　山住嶮植
池田英美代　梶原健司　小谷公穂　直田春夫　David Jack　堀　則明　山西昭夫
伊藤康夫　金多賀淑久　酒井俊幸　鷲見和彦　土井英一　松本哲生　吉田好道
内田友樹　川岸弘賢　阪田　收　鷲見博子　土井周子　松本好史　米沢　康
延　秀恵　菊枝英興　佐藤晴彦　鷲見良彦　東條良賢　三木依子　和田誠一郎
大西國忠　北浦告三　里見悦子　園﨑明夫　仲窪菜穂子　南　茂夫　匿名 30 名
大西淑子　楠雄一郎　更家悠介　高田満國　中西　守　三宅成典
岡村敬二　黒笹倫代　重森哲二　高橋　香　橋本依子　宮本敏子
岡本好平　黒田千之　嶌田潤作　竹田忠士　廣川信一　家辺孝司
小川　寛　高　仁宝　清水淳彦　田中佐代　廣瀬隆平　山口敦子

〈敬称略・順不同〉

日本テレマン協会ディスコグラフィー　Discography

●テレマン作品集 1
WWCC-7406
ディレクター：中野振一郎
コレギウム・ムジクム・テレマン

●バロック・オーボエ協奏曲名曲集
WWCC-7432
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル



●心のオーボエ
WWCC-7478
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル

●１００人の第九
WWCC-7543
指揮：延原武春
テレマン室内オーケストラ

●テレマン作品集 2
WWCC-7567
オーボエ：延原武春
リコーダー：北山　隆

●ベートーヴェン
交響曲 第 1 番，第 2 番
WWCC-7610
（クラシカル楽器使用）

●ベートーヴェン
交響曲 第 3 番 「英雄」，交響曲 第 4 番
WWCC-7622
（クラシカル楽器使用）

●ベートーヴェン
交響曲第 5 番「運命」，交響曲第 6 番「田園」
WWCC-7629
（クラシカル楽器使用）

●ベートーヴェン
交響曲第 7 番，交響曲第 8 番
WWCC-7639
（クラシカル楽器使用）

●ベートーヴェン
交響曲第 9 番「合唱付」
WWCC-7658
（クラシカル楽器使用）

●ベートーヴェン
「合唱幻想曲」 &「ミサ曲 ハ長調」
WWCC-7667
（クラシカル楽器使用）

●高田泰治　チェンバロ・アルバム vol.1
WWCC-7684
J.S. バッハ：パルティータ　第 2 番
イギリス組曲　第 2 番 ほか

●マーラー　亡き児を偲ぶ歌，交響曲第 4 番ト長調
WWCC-7695-6（2 枚組）
指揮：延原武春
Orchestra Japan 2011

●ヴィヴァルディ
ヴァイオリン協奏曲 「ムガール大帝」「四季」
WWCC-7706
ヴァイオリン：浅井咲乃

●バッハ　６つのソナタ
WWCC-7715-6（2 枚組）
ヴァイオリン：U. ブンディース
チェンバロ：高田泰治

●浅井咲乃の「よろこび」と「かなしみ」
WWCC-7758
F. クライスラー：「愛の喜び」・「愛の悲しみ」
J. マスネ：タイスの瞑想曲　ほか

●ブラームス：ドイツ・レクイエム
WWCC-7778
指揮：延原武春
Orchestra Japan 2011

●モーツァルト　ヴァイオリン・ソナタ
WWCC-7783
ヴァイオリン：U. ブンディース
フォルテピアノ：高田泰治

●モーツァルト・アルバム
WWCC-7788
フォルテピアノ：高田泰治
モーツァルト：ピアノ・ソナタ　第１４番ほか

●うつろい
WWCC-7802
チェンバロ・フォルテピアノほか：高田泰治
L.v. ベートーヴェン：「月光」ソナタ　ほか

●J.S. バッハ　ゴルトベルク変奏曲
WWCC-7823
チェンバロ：高田泰治

●古典派二重奏曲の系譜
WWCC-7832
ヴァイオリン：U. ブンディース
チェンバロ・フォルテピアノ：高田泰治

●高田泰治　ベートーヴェン・アルバム
WWCC-7876
フォルテピアノ：高田泰治

●ブランデンブルク協奏曲全曲
WWCC-7901 ～ 2
指揮：延原武春
テレマン室内オーケストラ

●高田泰治 ショパン＆シューマン ピアノ協奏曲集
WWCC-7906
指揮：延原武春　フォルテピアノ：高田泰治
テレマン室内オーケストラ

●アヴェ・マリア　延原武春　心のオーボエ Vol.2
WWCC-7928
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル

２０２０年度版　一般社団法人日本テレマン協会　活動報告書
発行　一般社団法人日本テレマン協会
〒530-0002
大阪市北区曽根崎新地２丁目1-17
TEL06-6345-1046
FAX06-6345-1045
tij@cafe-telemann.com
http://www.cafe-telemann.com/